

代表質問通告内容

(令和8年定例会3月会議)

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
代3	公明党 (氏家 裕治)	<p>1. 町政執行方針について</p> <p>(1) 令和5年3月に行われた町長選挙において多くの町民から信任を受け4年間のまちづくりのかじ取り役として約3年が経過し、様々な難題に向き合い多くの施策に取り組んでこられたと認識していますが、町長が掲げた45項目の公約の達成度について伺います。</p> <p>(2) 町の子育て関連施設及び小中学校等の熱中症対策については、令和5年度より随時進められてきたものと認識しています。</p> <p>今後の対応については令和7年定例会12月会議において計画的にスピード感をもって進めたいとの答弁をいただいたところですが、令和8年度町政執行方針では読み取れません。前回答弁との整合性について伺います。</p> <p>(3) 町長は、町政に臨む基本姿勢として「目指すまちづくりは、町民一人ひとりがこのまちに誇りと希望を持ち、安心して暮らせる持続可能な地域社会を創ることであり、町民の皆さまとともに対話を重ね、知恵を出し合いながら、誰もが安心して暮らせ、次の世代が夢を描ける施策を展開する」としています。</p> <p>① 重要施策「健康・交流・誇りの醸成の推進」において、「自治体におけるスポーツは、体力向上や趣味の枠を超え、住民の健康寿命延伸による医療・介護費の抑制、コミュニティの再生と地域への愛着の醸成、交流人口・関係人口の増加による地域経済活性化など、まちづくりには必要不可欠なものであり、新年度においては、多くの町民参画・交流によるスポーツイベントを開催し、世代間交流の促進を図るほか、スポーツのまちとしての特性を活かしながら、本町の観光・特産品などの地域資源と融合させながらスポーツツーリズムの推進を図っていく」としていますが、具体的な考えを伺います。</p>

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
代3	<p style="text-align: center;">公明党 (氏家 裕治)</p>	<p>② 重要施策「持続可能なまちづくりの推進」において「より多くの町民参加による意見を町政に反映させるため、引き続き、タウンミーティングの開催や町内団体・企業へのヒアリングの実施に加え、新年度より2か年かけてワークショップの開催やオンライン会議による参加促進など町民参加型・官民連携型の策定プロセスを通じて、持続可能なまちづくりのビジョンを策定するべく第7次白老町総合計画の策定に着手する」とあります。町政に臨む基本姿勢にも決意を述べられているように、次の世代が夢を描ける施策の展開とは30年後40年後のまちの姿を描いてこそであり、そのための「第7次総合計画」であってほしいと考えますが見解を伺います。</p> <p>③ 主要施策「防災・減災」において「多様化・激甚化している災害に対応するため、実践的な防災訓練の実施や津波避難施設の在り方を検討する」とあるが、町民参加の機会をどのように確保し、どのようなスケジュール感を持って進めるのか具体的に伺います。</p> <p style="text-align: right;">答弁を求める者 町長</p>